

# nagomi なごみ



## index

特集

- 年頭ごあいさつ
- 正しい目薬の使い方と注意点

### トピックス

- 介護のことを考えたことありますか？  
～江南中部地域包括支援センターからのご提案～
- 助産外来のご案内
- 平成 26 年度災害拠点病院災害訓練実施
- 食育ワークショップを終えて

### イベント紹介

- 今年も開催!乳がんイベント
- お達者!!転ばん体操教室を終えて
- 摂食嚥下地域連携研修会2014
- 院内コンサート

### お知らせ

- 看護学生インターンシップのお知らせ
- がんサロン「にじの会」のご案内
- 日本医療機能評価認定
- 保険証の確認について
- 面会時間のご案内
- 診療日カレンダー



## 病院理念

- 一.私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一.私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一.私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

# 年頭ごあいさつ



院長 野木森 剛



皆様、明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、医療の分野におきましては、平成25年8月の社会保障制度改革国民会議の報告をもとに、社会保障制度改革プログラム法が成立し、高齢化社会における医療を、救命・延命・治癒・社会復帰を前提とした病院完結型医療から、病気と共存しQOL（生活の質）の維持向上をめざす自宅での生活のための医療・地域全体で支える地域完結型医療へ導くことが示されました。そして、団塊の世代が後期高齢者に達する2025年問題に向け、地域の連携と病院機能の再編がなされようとしております。

昨年4月の診療報酬の改定では、病床の基準の厳格化と病床再編、病院機能報告などが導入され、病院に対して厳しいものとなりました。同時に消費税の増税がなされ、マイナス要因が幾つも重なり、我々厚生連の病院経営にもたいへん大きな影響がでております。

さらに我々に大きな影響を及ぼすと予想されるのが、安倍内閣の方針である農協改革の行く末です。我々の病院は厚生連の経営であるため、農協の設立基盤が変更されることはすなわち病院の存在基盤が変更されることを意味します。農協と切り離された場合には、医療法人への転換も可能性がないわけではありません。

また、高齢化社会の進行とともに疾病の構造も変化して、急性疾患が減少し、慢性疾患、悪性腫瘍、認知症などの疾患が増加してきております。さらに、昨年から話題になったデング熱、エボラ出血熱など、本来地域が限定されていた感染症が世界中に拡散するようになり、我々の身近にも迫ってきました。

こういう医療事情のなかで、当院はこの地域を代表する医療機関として、地域の医療機関や施設と相互に協力し、住民の皆さんのニーズに応えられるように今まで以上に努力をしていく所存です。

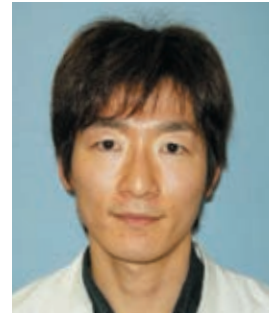


## 正しい目薬の使い方と注意点

みなさん一度は目薬を使用されたことがあると思います。その時に使い方が分からなくて困ったことや、誤って使っていた経験はありませんか？

目薬は無菌の製剤であるため、まつ毛やまぶたに触れないように点眼することが重要です。薬の効果が十分に発揮されないことや、目薬自体が汚染されて目に悪影響を及ぼすことがあります。点眼が上手に出来ない人がみえましたら【げんこつ法】と言う手技で問題が解決するかもしれません。また、より効果が高いと思い一度に何滴も使用したり、医師の用法以上を点眼したりすることはよくありません。よく振ってから使用するもの、冷蔵庫に保管するもの、数種類の目薬を処方された場合の点眼の順番、コンタクトレンズ装着中の点眼や目薬の相互作用など注意点がたくさんあります。

今や目薬は、簡単にドラッグストアやコンビニでも手に入ります。しかし、使用方法を誤ると効果が不十分になることや、思わぬ副作用が現れることがあります。お薬と一緒にお渡しする薬剤情報にも注意事項が記載してあります。もし、目薬が処方されて不明な点や気になる点がありましたら、お気軽にご相談ください。



薬剤部 主任級 小林 融

げんこつ法とは・・・



左手の親指を中に入れて  
げんこつをつくる



目の下にそのげんこつをあて、  
まぶたを下にひっぱる



## 介護のことを考えたことありますか？

### ～江南中部地域包括支援センターからのご提案～

若い世代の方や、今家族が元気で過ごしている方は、自分や家族の介護について、考えたことがないという方が多いのではないのでしょうか。地域包括支援センターには「急に動けなくなってしまって困っています、初めてで何にも分からなくて」と相談にみえる方が少なくありません。突然介護が必要な状態になってしまった時どうすればよいのでしょうか。もしもの時、せめてどこに情報があるのか、知っておくと安心です。各市町の広報には介護に関する様々な情報が適宜載っています。テレビ番組、市町役場や福祉センター等においてある冊子なども役に立ちます。もちろん、市町役場の高齢者の窓口や地域包括支援センターに相談していただければ、必要な機関へのつなぎや対応をさせていただきます。

普段から介護を意識して市町の広報などを見ていただくと、情報が目に留まるようになり、きっといざという時に役に立ってくることでしょう。

江南市の高齢者の方の相談窓口は、

江南北部地域包括支援センター電話 (0587) 57 - 2155

江南中部地域包括支援センター電話 (0587) 51 - 3322

江南南部地域包括支援センター電話 (0587) 55 - 5470

各市町に地域包括支援センターがありますので、江南市以外の方はそちらへお問い合わせください。





## 助産外来のご案内

当院では、平成24年から助産外来を開設しました。妊娠24週以降の正常な妊婦の方を対象に、助産師が妊娠中の経過を説明しながら妊婦健診を行っています。さらに、お産や産後の授乳、お部屋の確認などもしています。助産師経験5年以上の経験豊かな助産師と安全な出産に向けてどのように妊娠生活を過ごしたらよいか、出産や産後の母乳育児など一緒に考え、楽しい妊娠生活、産後の育児に取り組めるようしてみませんか。費用は妊婦健診の無料券が使用できます。月曜日から木曜日まで毎日行っていますので、医師または、看護師にお声かけください。

### <助産外来>

月・水曜日 (14:00 ~ 16:00)

火・木曜日 (10:00 ~ 11:00・14:00 ~ 16:00)



## 平成26年度災害拠点病院災害訓練実施

11月1日（土）江南市消防本部をはじめ近隣消防3機関、江南警察署、江南市消防団第1分団、東邦ガス株式会社と合同で大規模災害を想定し、総勢400名で災害訓練を実施しました。

今回の訓練は、平日昼間に大規模地震が発生し、尾北地区においても多数の被災者が発生している想定で実施しました。訓練では、地震に伴う火災発生への対応（避難誘導、初期消火、通報連絡）後に院内各部署の被災状況確認を行い、院内に大きな被害がないことを確認し、災害対策本部にて医療続行の決定を行い、被災患者の受け入れ（トリアージ）と応急救護を実施しました。

また、新たな試みとして入院・手術可能な患者数に制限を設け、入院・手術待機及び転院の必要な患者さんの一時的な待機場所として新たに転院・手術待機群を新設しました。

この訓練で得た課題を整理し、地域災害拠点病院として災害時には地域医療を守り一人でも多くの人を救うことができるように取り組んで参ります。



# 食育ワークショップを終えて

10月4日（土）江南市民文化会館において愛知県厚生連主催の「第3回食育を考えるワークショップ・江南」（事務局：江南厚生病院栄養科）が開催され、厚生連職員、江南保健所管内栄養士会および地域住民約180名が参加しました。

本ワークショップは、国が地域の食育活動支援のために設けた「地域食育推進事業補助金」を申請し、愛知県の承認を受け実施したものです。

第1部の特別講演では、当院の西村直子こども医療センター長が座長を務め、内田産婦人科医院で助産師の内田美智子先生に「いのちをいただいて、つないで、育むこと」と題してご講演いただきました。思春期の子どもたちの食事の現状、食品添加物の実態などについてのお話を拝聴し、「自分や家族は安心安全なものを食べているか」「今日から自分は何を改めるべきか」など食生活について考えるよい機会となりました。

第2部の「地域における食育活動報告」では、当院リハビリテーション技術科職員の山田和朗が「当院における食育の取り組み～野菜栽培を通じた食育体験学習～」と題し、この取り組みの立ち上げから現在に至るまでの道程や苦労、その成果について発表しました。その他には児童養護施設金城六華園、愛知江南短期大学の2施設から食育活動報告がありました。



## イベント紹介

### ■今年も開催！乳がんイベント（資料ご希望の方は患者図書室まで）

尾張北部地域として毎年当院で開催している乳がんイベントが10月9日に開催されました。今年も、当院の外科と患者会「マミーズダイニング」との共同企画として実施しました。100名を越す方にお越しいただき、業者によるウィッグ、下着などの術後に必要となるものの展示ブースもあり、当事者の方にとっては有意義な場となりました。

予防的な視点では、公開医療福祉講座にて「乳がんは予防できるのか？」というテーマで、乳腺内分泌外科の飛永部長よりお話ししました。また、患者会としてハンドベルによる癒しのコンサートも実施し、その美しい音色に参加者も心が癒されました。来年度も実施する予定です。毎年10月は乳がん予防月間として、地域の皆様も是非ご参加ください。



### ■お達者!! 転ばん体操教室

今年度も、江南市の生活機能低下を早期から予防する介護予防事業施策として「お達者!! 転ばん体操教室」が10月28日～12月16日の毎週火曜日当院にて開催されました。

転倒予防に関心がある方々が参加され、昨年に引き続き参加された方もありました。



### ■摂食嚥下地域連携研修会2014

11月4日（火）に「摂食嚥下地域連携研修会2014」を開催しました。地域施設の介護福祉士やホームヘルパーなど、約70名が参加し、嚥下障害の現状や嚥下の病態、具体的な評価・訓練について研修会を行いました。参加者からは、「実習が良かった」「他施設との交流が図れた」などの感想があがりました。



### ■院内コンサート

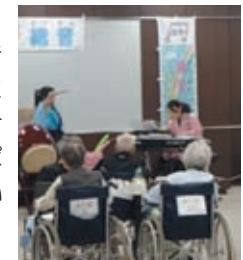
9月1日（月）

「ポロンポロン扶桑」によるクラシックギターコンサートが行われました。クラシックギターの優しく温かな音色に心癒されました。



10月17日（金）

地域でボランティア演奏活動をしている「織音（おりおん）」によるエレクトーンと太鼓のコンサートが行われました。元気いっぱいのコンサートに、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。



11月20日（木）

江南市を中心に活動中の「珈琲フレンズ」によるオカリナコンサートが行われました。会場全体が癒しの音楽に包まれていました。





# 看護学生インターンシップのお知らせ

体感しよう!



江南厚生病院

H27年

2月23日(月)~3月27日(金)

1月13日(火)より申込受付開始 (※参加希望日の1週間前までにお申込ください。)

夏期には低学年のインターンシップを計画しています。ご期待ください。

お問い合わせ 看護管理室 副看護部長 山本美奈子

e-mail kango@konan.jaaikosei.or.jp

## がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 がんを患っている患者さん、あるいはそのご家族
- 日時 (※変更になることがあります)

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
1月20日(火)	がん患者のための食事について	栄養士
2月21日(土)、3月17日(火)	がん患者の立場から	当事者

10:00~10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)

10:30~12:00 参加者同士の交流会

- 場所 外来2階 多目的室 ※ 外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加



<お問い合わせ> がん相談支援センター  
TEL: 0587-51-3346 FAX: 0587-51-3317  
e-mail: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

## 日本医療機能評価認定

平成26年9月4日付で公益財団法人日本医療機能評価機構が定める「機能種別版評価項目(3rdG:Ver1.0)一般病院2」及び「慢性期病院」の認定を受けました。(更新)

今後とも「患者さん中心の医療」「患者さんの安心と信頼を得る」という当院の理念のもと、より良質な医療サービスが提供できるようスタッフ一丸となって継続的な改善活動に取り組んでまいります。



### ● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

### ● 面会時間のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないよう談話コーナーなどをご利用ください。  
※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。日照時間が減少し、朝夕の冷え込みが一段と厳しくなり、空気も乾燥し、ちょっとした気の緩みから体調を崩しかねません。今年も厳しい冬になるかと思いますが、体調管理は怠らないようにしましょう。

## 2014年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
	31					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

● 発行日/平成27年1月1日

● 発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300